

# 北陸の最新技術がここに

## ～ 平成26年度「建設技術報告会」開催 ～

新技術・新工法の活用普及と北陸地域の建設技術者の研鑽などを目的に、平成26年度「建設技術報告会」を開催します。

この「建設技術報告会」では、民・官で研究開発された最新の建設技術の発表や、パネル展示などが行われる他、金沢大学の鳥居和之教授によるインフラ長寿命化対策についての基調講演が行われます。

◇会場： 富山国際会議場（大手町フォーラム）

◇開催日時： 平成26年9月25日（木） 9：30～16：30 （9：00から受付）

◇主催： 平成26年度「建設技術報告会」実行委員会（構成は別紙参照）

◇基調講演 演題「北陸地方の塩害及びASRによる劣化事例から学ぶ社会インフラの長寿命化対策」  
講師 金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系 教授 鳥居 和之 氏

◇入場料： 無料

◇その他： CPD/CPDS 認定プログラムとなっており、聴講者にはポイントが付与されます。

（CPD6単位/CPDS6ユニット）

右の写真は前回開催時



### 同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ  
新潟県政記者クラブ  
富山県政記者クラブ  
石川県政記者クラブ  
長野市政記者クラブ  
福井県政記者クラブ  
高山記者クラブ  
長岡市政記者会  
上越記者クラブ

### お問い合わせ先

北陸地方建設事業推進協議会 平成26年度「建設技術報告会」実行委員会  
事務局

（国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所）

副所長 堤 雄生（つつみ） 電話025-231-1281（代表）

内線 205

本資料は北陸技術事務所のHPにも掲載しています。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/index.html>

# 北陸地方建設事業推進協議会 平成26年度「建設技術報告会」開催のご案内

平成26年度「建設技術報告会」は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に開催するものです。

本報告会は、今回で19回目となり、昨年は500名を越える行政・民間の技術者の方々が聴講されました。

今年も、皆様方の多数のご参加をお待ちしています。

なお、本報告会はCPD(継続教育)プログラムおよびCPDS(継続学習制度)学習プログラムに登録されています。

## ■開催日時

平成26年 9月25日(木) 9時30分～16時30分

受付 9時00分～

開会式 9時30分～ 9時40分 第1会場〔3階メインホール〕

基調講演 9時40分～10時40分 第1会場〔3階メインホール〕

「北陸地方の塩害及びASRによる劣化事例から学ぶ社会インフラの長寿命化対策」

金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系 教授 鳥居 和之

技術報告 10時50分～16時10分 第1会場〔3階メインホール〕

第2会場〔2階多目的会議室〕

閉会式 16時20分～16時30分 第1会場〔3階メインホール〕

## ■開催場所

富山国際会議場(大手町フォーラム)

住所：〒930-0084 富山市大手町1番2号

電話：076-424-5931

駐車場：富山国際会議場地下駐車場

◆駐車台数 125台

・営業時間：24時間

・料金：1時間まで 300円

以降30分ごと 100円

《交通アクセス》

◆JR富山駅利用

・バス：約5分「城址公園前」下車 徒歩3分

・徒歩：城址大通りを南へ約15分

・市内電車(セントラム)：約7分「国際会議場前」下車

◆自動車利用

北陸自動車道 富山IC より約10分

北陸自動車道 富山西IC より約20分

◆富山空港利用

・タクシーで約20分

・バス(空港連絡バス)：約25分「総曲輪(そうがわ)」下車 徒歩2分

詳細は富山国際会議場のホームページをご覧ください。( <http://www.ticc.co.jp/> )



## ■主 催

北陸地方建設事業推進協議会 平成 26 年度「建設技術報告会」実行委員会

- ・北陸地方整備局・新潟県・富山県・石川県・新潟市・東日本高速道路(株)新潟支社
- ・中日本高速道路(株)金沢支社・(一社)日本建設業連合会北陸支部
- ・(一社)日本道路建設業協会北陸支部・(一社)新潟県建設業協会・(一社)富山県建設業協会
- ・(一社)石川県建設業協会・(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部
- ・(一社)日本建設機械施工協会北陸支部・北陸土木コンクリート製品技術協会
- ・(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部・北陸PC防雪技術協会
- ・(一社)新潟県融雪技術協会・(一財)新潟県建設技術センター・北陸地質調査業協会
- ・(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部・(一社)北陸地域づくり協会
- ・(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所

## ■技術報告等

下記の7テーマにそって、36技術の報告を予定しています。

### ①社会資本の的確な維持管理・更新

(維持管理、長寿命化、更新に関する新技術 等)

### ②雪に強い地域づくり

(克雪対策、冬期道路交通の安全確保・安全性に関する新技術 等)

### ③良いものを安く

(生産性向上、コスト縮減、省力化に関する新技術 等)

### ④自然災害からの安全確保

(危機管理、土石流などの防災に関する新技術 等)

### ⑤環境の保全と創造

(建設副産物、リサイクル、省エネルギー、再生可能エネルギーに関する新技術 等)

### ⑥ゆとりと福祉

(情報化、バリアフリーに関する新技術 等)

### ⑦その他

(上記①～⑥に属さない新技術 等)

○その他展示コーナー〔3階ホワイエ〕ーメインホール前ー

(1)パネル等展示コーナー

民間企業等で開発された新技術・新工法などをパネル・パンフレット等により紹介します。

\* 31 技術の展示を予定します。

プログラム(発表時間割等)及び報告論文を北陸地方整備局北陸技術事務所のホームページ(URL: <http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/>)に掲載しますのでご利用ください。  
なお、本報告会当日に報告論文の配布はいたしませんので、各位においてご準備ください。

## ■CPD および CPDS

本報告会(基調講演含む)は、建設系CPD協議会によるCPD(継続教育)および社団法人全国土木施工管理技士会連合会のCPDS(継続学習制度)プログラムの認定講習となっています。(CPD6単位/CPDS6ユニット)

なお、受講証明書の発行は本報告会当日の受講を完了した方とさせていただきます。

## ■聴講費

無 料

## ■聴講申込

当日の受付も行いますので会場へ直接お越し下さい。

## ■申し込み・問い合わせ先

北陸地方建設事業推進協議会 平成26年度「建設技術報告会」実行委員会事務局

〔 国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所内  
担当：技術情報管理官【新技術】， 施工調査・技術活用課 技術活用係長 〕

〒950-1101 新潟市西区山田2310番地5

TEL：025-231-1281（代表） FAX：025-231-1283

E-mail：hokugi-info@hrr.mlit.go.jp

URL：http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/

# 平成26年度 建設分野の新技术・新工法の報告会

# 建設技術 報告会

平成26年

開催日 9/25 木

会場 富山国際会議場  
(大手町フォーラム)

## 聴講者募集中

～建設分野に関する新技术・新工法などを発表します～

○本報告会はCPD/CPDSの登録プログラムです○

### スケジュール (予定)

受付	9:00～	[3階メインホール]
開会式	9:30～	第1会場 [3階メインホール]
基調講演	9:40～	第1会場 [3階メインホール] 「北陸地方の塩害及びASRによる劣化事例から 学ぶ社会インフラの長寿命化対策」 講師: 金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系 教授 鳥居 和之氏
技術報告	10:50～	第1会場 [3階メインホール]
	10:50～	第2会場 [2階多目的会議室]
閉会式	16:20～	第1会場 [3階メインホール]

### 講師プロフィール

金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系  
教授 鳥居 和之氏



コンクリート工学、維持管理工学を専門分野とし、コンクリート構造物の耐久性を研究課題としているほか、福井県橋梁長寿命化委員会委員長、石川県ASR対策委員会委員長として橋梁の維持管理の問題に取り組んでいる。国土交通省関係では総合評価落札方式評価委員や橋梁塩害対策検討委員を務めた。



主催: 北陸地方建設事業推進協議会  
平成26年度「建設技術報告会」実行委員会

北陸地方整備局/新潟県/富山県/石川県/新潟市  
東日本高速道路(株)新潟支社/中日本高速道路(株)金沢支社  
(一社)日本建設業連合会北陸支部/(一社)日本道路建設業協会北陸支部  
(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部/  
(一社)日本建設機械施工協会北陸支部/(一社)新潟県建設業協会  
(一社)富山県建設業協会/(一社)石川県建設業協会  
北陸土木コンクリート製品技術協会  
(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部  
北陸PC防雪技術協会/(一社)新潟県融雪技術協会  
(一財)新潟県建設技術センター/北陸地質調査業協会  
(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部/(一社)北陸地域づくり協会/  
(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所

報告技術申込

<http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/>

上記ホームページで情報提供させていただきます。

聴講  
無料

北陸地方建設事業推進協議会 平成26年度「建設技術報告会」実行委員会

問い合わせ先 (国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所 〒950-1101 新潟市西区山田2310番地5 担当: 技術情報管理官)  
TEL 025-231-1281 FAX 025-231-1283 E-mail hokugi-info@hrr.mlit.go.jp

第1会場〔メインホール：3階〕

▼開会式

9:30 ~ 9:40	開会挨拶	小口 浩	北陸地方整備局 企画部 部長
-------------	------	------	----------------

▼基調講演

9:40 ~ 10:40	「北陸地方の塩害及びASRによる劣化事例から学ぶ社会インフラの長寿命化対策」	鳥居 和之	金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系 教授
--------------	--	-------	------------------------

10:40 ~ 10:50 (聴講者移動・会場整理)

▼技術報告

第Iグループ

1	10:50 ~ 11:04	① 老朽化した道路橋点検に関する地方公共団体支援について	若月 大	北陸地方整備局 北陸技術事務所 維持管理技術課
2	11:04 ~ 11:18	① めっき下地と金属溶射を用いた二重防錆ボルト	大野 克紀	川田工業(株)
3	11:18 ~ 11:32	① わだち掘れ抑制対策としての遮熱性舗装適用例	高畑 浩二	(株)NIPPO 北信越支店
4	11:32 ~ 11:46	① ネプラス工法(側溝上部改修工法)の開発	高橋 和義	高橋土建(株)
5	11:46 ~ 12:00	① 重交通などに対応した路面維持工法STリペアコート	片山 潤之介	世紀東急工業(株) 技術部

12:00 ~ 13:00 休憩(昼食)

第IIグループ

6	13:00 ~ 13:14	① FRP防護板を用いた橋梁の防食技術	山下 修平	宮地エンジニアリング(株)
7	13:14 ~ 13:28	① コンクリート舗装上のオーバーレイ層に適用したリフレクションクラックの発生を抑制する舗装	紺野 路登	大成ロテック(株) 技術研究所
8	13:28 ~ 13:42	① 中島閘門 放水路水門 補修工事について	伊藤 彰規	富山県 富山土木センター
9	13:42 ~ 13:56	① 空港エプロン舗装等における接着剤塗布型接着オーバーレイ工法に適応させた接着剤塗布機械の開発について	伊藤 清志	鹿島道路(株) 生産技術本部 技術部
10	13:56 ~ 14:10	① 伸縮式ストラット工法の開発について	吉原 到	あおみ建設(株) 土木本部 技術開発部

14:10 ~ 14:15 休憩

第IIIグループ

11	14:15 ~ 14:29	① コンクリート単位水量測定器の改良開発について(W/CミータMT-400)	市村 浩二	(一社)北陸地域づくり協会 技術部 事業調査室
12	14:29 ~ 14:43	① 乾式吹付耐震補強工法	鈴木 健史	第一建設工業(株) 土木本部 コンクリート事業部
13	14:43 ~ 14:57	① 水平締固めによる廃棄物処分場 延命化技術『TLT工法』	本間 義信	(株)本間組 土木事業本部 技術部 技術開発研究室
14	14:57 ~ 15:11	① 老朽化吹付法面を再構築するニューレスプ工法	中山 守人	日特建設(株) 技術本部 技術営業部

第IVグループ

15	15:11 ~ 15:25	① 空中放射音波による遠距離非接触非破壊検査技術/NCAL法	歌川 紀之	佐藤工業(株) 技術研究所
16	15:25 ~ 15:39	① 長距離圧送を実現した高強度モルタル吹付『キロ・フケール工法』	細 光洋	日特建設(株) 北陸支店 事業部技術部
17	15:39 ~ 15:53	① 老朽化した鋼矢板水路の補修・補強工法の開発	佐藤 弘輝	藤村ヒューム管(株) 技術営業部
18	15:53 ~ 16:07	③ トンネル専用側溝の開発	細野 義則	(株)アドヴァンス 製品開発推進部
19	16:07 ~ 16:21	③ 二重壁構造を持つジオテキスタイル補強土壁「アダムウォール」の塩害対策	辻 慎一郎	アダムウォール協会

16:21 ~ 16:26 休憩(会場整理)

▼閉会式

16:26 ~ 16:36	総評・閉会挨拶	今野 和則	平成26年度「建設技術報告会」実行委員長(北陸地方整備局 北陸技術事務所 所長)
---------------	---------	-------	--

▼CPD・CPDS

16:40 ~ 17:00	受講証明書の発行(CPD/CPDS受付にてCPDまたはCPDSの受講証明書を発行します)
---------------	--

第2会場〔多目的会議室201・202・203：2階〕

10:40 ~ 10:50 (聴講者移動)

▼技術報告

第Iグループ

1	10:50 ~ 11:04	④ 建設機械による無人化・自律施工	片山 三郎	大成建設(株) 技術センター 土木技術開発部 先端技術開発室
2	11:04 ~ 11:18	④ 開放型耐震補強工法「SMIC工法」の開発	稲田 誠	名工建設(株) 建築本部 建築技術部 SMIC事業課
3	11:18 ~ 11:32	④ 一般県道清水小滝谷線道路災害復旧事業について	清水 隆生	富山県 土木部 建築住宅課
4	11:32 ~ 11:46	④ バルーングラウト工法	大野 康年	東亜建設工業(株) 土木事業本部 防災事業室
5	11:46 ~ 12:00	④ 没水型港内長周期波対策構造物	松本 朗	(株)不動テトラ プロック環境事業本部 総合技術研究所

12:00 ~ 13:00 休憩(昼食)

第IIグループ

6	13:00 ~ 13:14	④ 下新川海岸の水防警報発令判断プログラムの改良について	北川 正良	北陸地方整備局 黒部河川事務所 調査課
7	13:14 ~ 13:28	④ 厳しい施工条件下でも対応可能な液状化対策技術「SAVE-SP工法」	高山 英作	(株)不動テトラ 北関東支店 研究室
8	13:28 ~ 13:42	⑤ トンネル発破低周波音抑制技術「プラストウェイブ・イーター(BWE)」	西村 晋一	清水建設(株) 土木技術本部 技術開発部
9	13:42 ~ 13:56	⑤ 樹脂固定による制振軌道の施工事例と供用性の評価について	関 賢治	日本道路(株) 技術営業部
10	13:56 ~ 14:10	⑤ 泥土リサイクル技術「ボンテラン工法」	橋本 和義	(株)宮地組

14:10 ~ 14:15 休憩

第IIIグループ

11	14:15 ~ 14:29	⑦ 伏木富山港(新湊地区)臨港道路東西線(新湊大橋)のケーブル振動対策について	清水 美代	北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所 技術開発課
12	14:29 ~ 14:43	⑦ シェル型浸透固化処理工法	秋本 哲平	五洋建設(株) 技術研究所
13	14:43 ~ 14:57	⑦ 超高強度繊維補強コンクリートによる場所打ちでの道路橋の施工	川崎 文義	鹿島建設(株) 北陸支店
14	14:57 ~ 15:11	⑦ Ap_pass工法(大型プレキャストアーチカルパート)	波形 武晴	日本サミコン(株)

第IVグループ

15	15:11 ~ 15:25	② フル・ファンクション・ペーパー(FFP)追跡調査結果について	濱崎 あいみ	(株)ガイアートT・K 東北支店 工事部
16	15:25 ~ 15:39	② 粗面型ゴム粒子入り凍結抑制舗装「アイストップ」	澤田 修平	大林道路(株) 技術研究所 材料研究室
17	15:39 ~ 15:53	② 雪道で役立つ様々な舗装技術	佐藤 慶彦	福田道路(株) 技術研究所
18	15:53 ~ 16:07	② 地中熱利用ヒートパイプ融雪工法の施工事例	大橋 勝人	(株)興和 水工部

16:07 ~ 16:26 休憩(第1会場[メインホール]に移動)

報告テーマ	①-「社会資本の的確な維持管理・更新」	②-「雪に強い地域づくり」
	③-「良いものを安く」	④-「自然災害からの安全確保」
	⑤-「環境の保全と創造」	⑥-「ゆとりと福祉」
	⑦-「その他」	